



議会だより

とらえい

CONTENTS

6月定例会概要報告.....	P2-4
一般質問ダイジェスト.....	P5-8
9月定例会開催日程(予定)／編集後記.....	P8

名前 **天滝「あま滝」**
高さ 約20m
幅 約10m
場所 御園久保地内

滝が3段になっている。
昔、雨乞いをしたと言われている。
今は御園花祭りのお水取りの場所となっている。

6月定例会を開催しました。

議云改選後、初の定例会で大きな動きがありました。

東栄医療センター（旧東栄病院）の

入院はなくなり

明石跡地に診療所が！

一、東栄医療センター（無床診療所）、保健福祉センターを明石跡地に建設することが決まりました。

本年度は基本設計の準備と土壌調査等、来年度は設計、3月に工事入札、再来年度に工事を行い、令和4年4月に開院予定です。

保健福祉センターは住民健診等の場として、役場の福祉関係と、社会福祉協議会の機能を移転する予定です。

町のお知らせは

テレビで！

二、防災行政無線は各戸（世帯）で受信していましたが、受信機はなくなり、令和2年4月（来年度）からテレビの空いているチャンネルでお知らせすることになりました。

屋外スピーカーは現在の6カ所から30カ所に増設し（再来年度）屋外では声で放送を聞くこととなります。事業費は2カ年継続事業で約6億円（約9割は起債（借金））です。

議会では
こんな討論が
行われました

東栄町の公共施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

10月1日からの消費税増税が予定されていることに伴い、公共施設等の使用料及び手数料の見直しを行うもの

反対討論

◆浅尾もと子 議員

公共施設の使用料及び手数料の値上げが、消費税10%への引き上げに伴うものであること、町が消費税の増税が「社会保障の安定財源の確保」に繋がると考えていることに反対。公共施設

設の「利用状況」や「設備投資」を理由にした値上げは一定の根拠がある。しかし、消費税の増税は制度導入以来、法人税の大減税の穴埋めとして機能してきたものと考えられる。医療・福祉といった社会保障のためにはなっていない。

10%への増税が決定されても、町民の負担とのバランスを考え、一部据え置きなどの負担軽減措置をとってもいいのではないかと提案する。

賛成討論

◆加藤 彰男 議員

消費税は導入当初から「逆進性」（所得の低い人ほど税負担割合が大きい）が指摘されてきた。特に山間地域で、県下54自治体で、人口一人あたりの家計所得が一番低い東栄町は逆進性の影響を大きく受けている。

増税に伴う町の使用料等の改定は、増税分2%を利用者負担か、自治体が代わ

って負担するかで、いずれにしても東栄町3,200人余の私たちの負担になることは変わらない。

増税の負担増を「保育料の無償化・軽減化」「小中学校の就学援助拡大」「町民利用料の軽減」などの、福祉政策で補っていく必要がある。世論調査での、多くの人が消費税増税を望んでいない気持ちを共有しつつ、今回の条例改正は「行政上のやむを得ない必要な手続き」と判断し賛成する。

一般会計補正予算

（第1号）

防災行政無線、とうえい温泉ボイラー更新、医療センター関連等の予算

反対討論

◆浅尾もと子 議員

医療センター関連予算について強く反対。町は、予算が可決されれば、無床・明石跡地に確定するという

考えた。さらに新しい組織をつくって検討すると言うが、どうなるか分からない。私は、ゼロベースからの議論を訴える。①無床の前提であった「入院代替施設」

今回の補正予算総額3億6,600万円余は業務を執行するため、予算に肉付けをするためである。

建設の断念、②医師・看護師の確保と診療科維持の見通しが立たないこと、③「基本構想・基本計画」に示された配置図は、あくまで「イメージ図」であって、敷地の東西どちらに建てるか決まっていないこと。そのため、敷地全体の土壌調査を行うという町の答弁には納得がいけない。④建設費が分からないこと。これから決める内容を、町が、この間あなたも決まったかのよう

医療センター・保健福祉センターについては、見直し・再検討の余地は残っているが、今前に進まなければ東栄町の医療、北設の医療は崩壊の危機があると言わざるを得ない。施設・設備の老朽化とも相まって、タイムスケジュール的にも制約があり、先送りも後退・停滞も許されない状況であり、いずれも不可避な事業であると考える。

反対討論

◆森田 昭夫 議員

うな「イメージ図」「各部門の構成」で町民を翻弄したり方は、決して許されない。

入院患者等の激減により、無床診療所化もやむを得ない。しかし、次世代まで使え続けなければならぬ診療所の場所を決定するには議論不足である。①建設の費用、資金計画など議論されていない。②なぜ明石跡地が最適か本郷平ではだめ

賛成討論

◆伊藤 紋次 議員

一般会計の当初予算は骨格予算で形成されており、

なにか十分な議論をしていない。③約3億円の維持費用は多額すぎる。専門家の経営診断を受け、経営を立て直してから建設を考えるべき。④医療機関の移転により、病院・下川診療所、

賛成討論

◆加藤 彰男 議員

本補正は子育て支援センターや医療センター関係、小中学校の整備など、子どもたちも含め住民の暮らしに必要な予算である。医療センターでは、地域

賛成討論

◆山本 典式 議員

一般会計補正予算における医療センター等関連予算

宿舎などをどうするか、解体費用等全く議論されていない。⑤将来の資金計画、建物規模、患者さんの利便性など町政で重要なことは、制定されているパブリックコメント要綱で町民の皆様

の意見を聞き、さらに修正を加えてから決定すべき。将来この町を担う方々の負担にならないよう充分な議論を重ねて建てるべきであり反対する。

これまでに一般会計から病院運営に繰り出してきた3億円を、今後ほかの分野に使うことも論議し、町の財政運営を変えていく、そしてこれまでの住民の声を町として充分に受け止めることを含め、補正予算に賛成する。

賛成討論

◆伊藤 芳孝 議員

今回の補正予算は、当初予算が骨格予算であったため、3億6,954万円の増額となった。医療・保健福祉センターの設計者選定や土壌調査、温泉ポイラー更

反対討論

◆山本 典式 議員

一般会計補正予算における医療センター等関連予算

反対討論

◆山本 典式 議員

一般会計補正予算における医療センター等関連予算

新、防災行政無線整備等にかかる費用が計上されているが、いずれも本町にとって重要な整備である。

特に病院整備については、大規模改修後47年を経過し、8年近く議論してきた。これ以上先送りにはできない。小学校建設問題の時のようになれば、また4年後の選挙になると思う。私は建設位置について迷ったが、規模や建設費についてはこれから協議をするということであるため、前に進めていただきたいということで賛成する。



常任委員会報告

文教福祉委員会質疑(概要)

問

花祭会館は子どもパスポートで無料だが、障害者の割引を導入する考えはあるか。

答

障害者の減免規程はない。町全体で考える必要があると思う。

問

斎場・葬祭場の町外の方の利用料を安くして利用頻度を高くすることはどうか。

答

火葬料も町外の方は倍の値段設定をしている。

問

グリーンハウス、御園天文台は町外の方も利用しており、毎年2000万円もの赤字である。公共施設管理計



画で考えていくという答弁であるが、3〜4年も経っていて条例改正ということは、見直さないで施設を続けるといふことか。今後運営廃止など思い切ったことはどうか。

答

平成29年3月に基本的な計画は作成している。以後の個別計画は今年度各課でプロジェクトチームをつくり策定に向けて進めている。

総務経済委員会(概要)

問

ノルディックウオーキングポールの使用料廃止の理由は。

答

約10年間行った健康づくり大学事業の成果もあり、購入する方が多く、利用者が減少し廃止することにした。

問

生活改善センター・集会所等は指定管理者制度で各区がそれぞれ管理しているから、設置条例だけで、区の実情に応じた金額で、町が決める必要はないか。

答

条例で決められた利用料以下の施設もあり、見直す必要があると思う。

問

温泉スタンドはなくなるが、原因は利用者の減か、故障でや

問

めるのか。以前は故障が多かった。今は電気自動車急速充電器の場所になっており設置は考えていない。

答

千代姫コテージは営業を中止して2年経ってもいまだに見込みがないなら一日も早く解体し町民の負担をできるだけ軽くすべき。民間ならとつくにやめているはず。条例改正を提案するより廃止条例の方がいいのではないかと思う。

答

現状は使用されていない。平成8年に作っているので、耐用年数も平成22年で終わった。解体も視野に検討したい。

問

公共施設の管理計画があまりにも遅れている。

一般質問 ダイジェスト

問

答

加藤 彰男 議員

すべての保育料・無償化の検討について

問

「幼児教育・保育」無償化では、3歳から5歳児はすべて無償とされる一方、0歳から2歳児までは「住民税非課税世帯」が対象となっている。すべての0歳児から2歳児の保育料無償化・軽減化はどうか。



おやつ時間、おいしいね！（とうえい保育園）

答

住民福祉課長

東栄町で0歳児から2歳児のすべてを保育料無償化すると、10月からの6カ月間で200万円余の年間400万円を超える財源が必要。

答

町長

無償化も含め検証して町の財政状況で無償化が可能な状況ができれば、実施時期を見据えていきたい。

入院・介護での「代替施設」の検討について

問

新医療センターは保健福祉センターとともに「地域包括ケアシステム」の中心施設である。2018年に地域包括ケア推進協議会から「入院機能の代替施設の検討」の要望書が出された。今後も町内既存施設や近隣施設も含めて検討が必要ではないか。

答

住民福祉課長

代替機能は、地域での生活援助のため、代替機能の6つの機能や制度を充実させる。

答

町長

（入院・介護の）実態を調べて、今年度中に近隣施設で対応できるか、把握したい。住民に説明できる状況を今年度中に作っていききたい。

高齢者の方を地域で見守るしくみについて

問

2017年に認知症の行方不明の人数は1万5863人（最新データ2018年・1万6927人）で、年々増加している。国では「行方不明を防ぐ・見つける市町村/地域の取組事例」をまとめ、取り組みを推進している。群馬県高崎市では、GPSなどの情報機器を活用している。町の「緊急通報システム」の改良として、新たな検討が必要である。また緊急通報システムは、障害者の方などの利用も今後必要ではないか。更に支援が必要な高齢者を支える「地域ケア個別会議」の取り組みはどうか。

答

住民福祉課長

緊急通報システムとGPSを利用した仕組みは、先進事例等を参考に研究していきたい。同時に東三河広域連合で、スケールメリットを生かすような取り組みも研究していきたい。緊急通報システムの利用対象は障害のある方などを含め、今後拡大していくことも考えたい。「地域ケア個別会議」は、今後マニュアルに沿って調整検討していく。

問

「地域ケア個別会議」さらに「地域包括ケアシステム」の土台となる「地域福祉計画」を作成することが前提ではないか。

答

住民福祉課長

地域福祉計画と地域包括ケア推進計画と整合させ取り組んでいきたい。

伊藤 芳孝 議員

2期目の町づくり市政運営について

問

激しい選挙であったが、終わればノースライドである。将来のためにも一体感のある、風通しの良い町づくりを進めて頂きたいが、町長の理想とする町の姿とは。

答

町長

これまでの町政をもとに町の元気を増やし、安心して楽しく便利に暮ら

し続けられる町を目指したい。そのために①町民が主役のまちづくり②低コストなまちづくり③地域がうるおうまちづくりの3つを戦略目標とした。

①はまちづくり基本条例の理念をさらに浸透させ、一人ひとりがお互いを認め合い、生きがいをもつて暮らせる町。②は利用頻度の高い公共施設を分散型から集約し、毎時1本の町営バスを走らせ利便性を向上させ、おいでん家等と繋ぐ。③は三遠南信開通をチャンスとしU・I・ターン者をさらに呼び込み、町に新たな賑わいを生み出す。

問

自治体の組織力を上げるための体制とか環境づくり、職員に臨む姿勢はどうか。

答

町長

少子化の進展により労働人口の若年層を確保することは熾烈で、退職者の補充が難しい状況である。そのため「自ら考え動く」「仕事を法令等の根拠に基づき他人に分かりやすく説明する」「常に情報を更新し自ら学び続け

「勤務時間を明確にし、私生活の充実が公務にも影響を及ぼす」をモットーに、自主性を持った職員を育成したい。

問 町民に対して臨む姿勢はどうか。

答 町長

町長室開放、おいでん家等での懇談、地区懇談会等の直接対話は今後も継続したい。充分な情報提供をし施策への参加を促し、町民主体の町づくりを推進したい。

医療センターの基本計画について

問 建設候補地の選定理由を伺う。

答 住民福祉課長

病院整備検討委員会では「医療のあり方検討委員会（H25）」で利点のみを検討した7カ所のうち、現実的に建設が可能と思われる4候補地に絞り、メリット・デメリットも慎重に検討され明石跡地を適地とした。

問 旧東栄小跡地と比較し、本町の活性化や発展が期待できるの

はどちらか。

答 住民福祉課長

立地場所によって本町への影響については、みらい戦略等を踏まえ、どちらも発展するようにしたい。

問 利便性はどうか。また朝の通学で見

童と病院患者は同じバスか。

答 参事兼振興課長

利用頻度の高い施設を集約することで、利便性向上と効率よいインフラ整備を実現し、おいでん家等と集約施設の連携なども高めたい。また本郷・下川・中設楽を結ぶ循環バスで町民や観光客に対応する検討もしたい。乗客が集中する朝のスクールバスも検討したい。

問 令和7年には本町の人口は約2500人に減少すると予測されている。厳しい財政状況や医師・看護師不足は今後も続く、小さな町でも維持できる規模については。

答 医療センター事務長

計画策定段階での外来患者数の推移を念頭に現計画ができています。医師・看護師などのマンパワーの確保、直近の患者数の状況などを加味して基本設計契約前には、もう一度確認し、最終的規模等を決めたい。

山本典式 議員

東栄町医療センターにおける今後の医療体制について

問 町長は「これまで町民の理解を得て、町民が納得できる町政運営をしなければならぬ」と発言しているが、今回の選挙結果を通して「無床診療所は変えない」という判断は、どのような根拠によるものか伺いたい。

答 町長

現状の実態をしっかりと捉える中で、有床ではやっていけないと思っている。計画通り無床診療所で進めていきたい。

問 予算提出は、根拠が必要。他の議員に対する答弁から、まだ決まっていな部分があると判断したがどうか。

答 町長

病床は、無床診療所、代替施設は、新たな高齢者住宅は建設しないが、その他の6項目を検討。建設用地は、答申のある明石跡地の土地。土壌調査等の結果を含め最終的に決定したい。

問 昨年12月医師の確保について質問したが、その後の状況はどうか。

答 町長

現在もお願ひしているが、いい結果には結びついていない。県からもいい返事をもらっていない。診療科目は今後しっかりと検討していく。

問 財政問題について、経常収支比率101%（この数値は財政破綻の目安ともなる）単年度収支も2年連続赤字の状況だがどうか。

答 町長

計画にある基本的な方針は変えないが実施機能部分で、再検討、結果をもって説明し進めたい。

経常収支比率等だけで財政破綻という話にはならない。現在総合計画の実施計画（3年計画）の財政シミュレーションが出来るので説明し進めていきたい。

問 私は「議論半ば」で予算提出する状況に至っていないと考えるがどうか。

答 町長

基本的な方針は変えるつもりはない。まだ診療科目等を含め検討することはある。今後の整備に向けて議論していきたい。

問 町の最上位の計画である総合計画（地域医療）が絵に描いた餅になっている。残念。本来は何よりも優先されるべき計画ではないのか。

答 町長

計画にある基本的な方針は変えないが実施機能部分で、再検討、結果をもって説明し進めたい。

問 健全な医療体制の維持と住民の不安感解消を目的とした「北設楽郡の医療等に関する協議会」で、町はなぜ「説

計画にある基本的な方針は変えないが実施機能部分で、再検討、結果をもって説明し進めたい。

「明し理解してもらった」の報告で終わっているのか。議論する場ではないのか。

答 町長

現状を認識してもらう場でもある。

浅尾もと子 議員

東栄医療センターについて

問 1. 東栄医療センター（旧東栄病院）で、新規の入院は、いつまで受け入れるのか。無床（入院ベッドなし）の方針を撤回する考えはないか。

2. 新たな診療所の建設計画は、①無床、②本郷字大沼地内「明石跡地」で確定か。

答 医療センター事務長

1. 病床廃止の時期は決まっていない。令和4年4月に無床の医療センターを開設予定なので、その間に廃止する。

2. 医療センターを①無床、②明石跡地で建設す

る計画は、この議会に関連予算が認められた段階で確定する。

問

無床診療所の前提であった「入院機能の代替施設」を断念したからには、無床化を撤回すべきだ。全町民へのアンケート実施と代替施設を要望した「地域包括ケア推進協議会」の再開を求めたい。

答 町長

その予定はない。

問

医療センターに併設する「保健福祉センター」に社会福祉協議会や町の住民福祉課の一部を入れると『地域包括ケア推進計画』に書いている。近隣自治体の保健福祉センターに国民健康保険係や国民年金係を入れて例はないか。これは町の分庁舎ではないか。「将来拡張スペース」まで確保している。ここを新庁舎にする予定か。

答 町長

今年度「まちづくり計画」を立てたい。その中で役場庁舎の問題も議論いただきたい。分庁舎的

な扱いかという指摘は、当然そういう状況になる。

悪臭対策について

問 1. 御殿・中設楽地区の悪臭対策を伺う。

2. 町は、悪臭の臭気測定の数値を公開すべきではないか。

3. 今後、町内に悪臭を発生させるおそれのある企業が進出する予定はあるか。

答 住民福祉課長

1. 住民の皆様には大変ご迷惑をおかけしている。当該事業所の臭気に関して、設備の改修計画が提出され、現在、早期の工事完了を指導中である。工事完了後、臭気測定を実施し、その結果、数値が規制基準に適合しなかった場合、不快な匂いによって住民の生活環境が損なわれていると認めるものとして改善勧告を考えた。

2. 臭気指数の公表は、慎重に取り扱いたい。

答 参事兼振興課長

3. 西園目地区に、たい

肥等を利用するバイオマスメタンガス発電施設の建設を予定している事業者を把握している。

問 中設楽・御殿地区の住民は疑心暗鬼になっているがどうか。

答 住民福祉課長

当該事業所には鶏の羽が名古屋・豊橋などから持ち込まれ、その羽を蒸して飼料を作っている。町は、現場には数回足を運び、工場長と協議している。

国民健康保険料について

問 愛知県の標準保険料率を当てはめた場合、今年度の町の保険料(①国民年金収入120万円の夫婦、②所得300万円3人世帯)がい

くらになるか。

答 住民福祉課長

①県が示した標準保険料率をそのまま当てはめた場合、41,100円、②522,400円となる。

伊藤紋次 議員

東栄IC開通に向けて

問 東栄IC開通に向けた事業構想等はあるか。

答 町長

東栄ICから鳳来峡ICの接続をチャンスに、ヒト・モノ・カネを一体的に管理し、新たな賑わいを創出していく。道の駅構想は地権者の理解がまだ得られないが、粘り強く交渉を続けていく。

公共施設、空き家等管理状況について

問 公共施設管理計画の進捗状況を伺う。

答 総務課長

今年度、まち・ひと・しごと創生総合戦略を改定する。各課横断的なプロジェクトチームを設置し、基本方針及び管理に関する実施方針により個別施設のあり方について具体的なアクションプランを作成し実行する。

問 空き家バンクの実績を伺う。



一般質問 ダイジェスト



答 地域支援課長

空き家バンクの登録件数22件、利用希望者65件、3年間の契約件数28件62人。定住促進空き家活用事業は、3世帯12人の入居があった。

問 耕作放棄地の現状と対応を伺う。

答 経済課長

町内の管理されていない農地は約11ha。地権者は107名で、そのうち54名は町外者である。草刈、耕作当の管理義務について罰則などの制度はないが、各地区ごとの農地管理計画等耕作放棄地対策を図ることが重要である。

問 おいでん家事業について

答 利用者は、年間延べ12,000人、1開催あたり10名程度、実人員は165人で町民の5%であるが、予算執行の公平、公正性から問題はないか。

答 住民福祉課長

平成30年度の行政評価において、課題や改善点が5点指摘されたので、庁内プロジェクトチームを編成し、見直し・改善に取り組む。

問 おいでん家事業の費用弁償において、開催回数、設備、契約内容、負担方法等により地区間で差異が生じているが是正できないか。

答 住民福祉課長

おいでん家開設時の契約内容で負担している。今後は費用負担がなるべく均等になるよう検討する。

問 おいでん家も3年経過した。今後の運営について伺う。

答 住民福祉課長

おいでん家事業の良さを発信し浸透させていく各地区それぞれの特徴もあり、課題を検討して見直しをする。



令和元年9月定例会の開催日程(予定)



9月定例会は、**9月6日(金)から9月18日(水)**までの会期で開催予定です。

- 本会議は午前10時から開催します。
- 日程は変更になる場合もあります。
- 詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。(電話 0536-76-0505)

9月 6日(金)	本会議 (提案上程・説明・質疑)
9月 9日(月)	本会議・一般質問
9月11日(水)	決算特別委員会
9月12日(木)	総務経済委員会 文教福祉委員会
9月18日(水)	本会議 (委員会報告・討論・採決)

編集後記

一昨年、振草川の鮎がグラプリの栄冠に輝いた。町にとっても優れた河川環境と清流が認められ、大いにPRとなった。久しぶりの朗報に漁業協同組合もこれまで以上に活気づき、今年の鮎釣り解禁日には、家の前あたりでは1m程の間隔で竿が入る。また6月には「天然ホタルを鑑賞しよう!」と「ホタルのさんぽ道」をキヤッチフレーズにイベントを企画。参加者はホタルの乱舞と涼しさを満喫。しかし昨年同様、異常気象は続く。5月中旬の宇連ダムの貯水量0というニュースに驚く。湖底に沈んだ橋や滝などが現れ、2日間で1,000人を超す人が訪れたという。また北海道では信じられない暑さ、39・5℃を記録。季節外れの酷暑など。暑さの本番はこれから。しかしこの暑さに「涼」を求め訪れる人は多いと思う。自然をモチーフにした「まち起こし」には熱意と根気が必要。

- 編集委員会
- 委員長 山本 典式
 - 副委員長 伊藤真千子
 - 委員 森田 昭夫
 - 委員 浅尾もと子
 - 発行責任者 原田 安生



とうえい議会だよりは、エコマーク認定の再生紙と環境に優しい植物油インクを使用しています

発行/東栄町議会・議会だより編集委員会
〒449-0292 愛知県北設楽郡東栄町大字本郷字上前畑25 ☎0536-76-0505